※具体的に示したい図,写真,表,グラフなどは, (写真 1) (表 1) などと文中に記載し,右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上,貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ずA3片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

部門名:

カリキュラム・マネジメント実践部門

エントリー名:

広島県立三原特別支援学校

活動名:

3 M カリマネプロジェクト 全員で教育課程編成とマップ作り

解決すべき課題:

これまで、教育課程編成や年間指導計画の作成は教育企画部の業務という意識が大多数で、教育課程を根本的な見直しには至らなかった。また、新学習指導要領を踏まえカリキュラム・マネジメントをどう構築していくのか、学部間の温度差が見受けられた。それらの課題を克服するための方策として、全員が参画できる教育課程編成作業の開発と3M(三原・学び・マップ)プロジェクトの立ち上げを行った(図1)。

目標:方針:

- ・全員が教育課程編成に参画できることをポイントに置いた。
- ・本校で推進している地域協働を基軸に置き、小中高等部で共通した取組を基に「付けたい力」、教科横断的な指導内容及び学部間の系統性を整理することで、児童生徒の学びが大きく向上すると考えた。
- ・学部でコアとなる教科や活動を通して指導内容の関連や単元の配列を考える機会は、潜在的な課題を浮き上がらせやすく、より良い教育課程を目指した編成作業は、教員の専門性の向上やチーム力の育成に大いに寄与することができると考えた。

活動内容:

- ・3 M プロジェクトを立ち上げ、3 大プロジェクト(H30)(清掃・おもてなし・芸術)及び校訓「礼儀・感謝・挑戦」 (R1)それぞれ3つの教員チームを編制し、リーダーを中心とした教員の主体的・創造的なアイディアやアクションが生かされるプロジェクトチームを展開した(写真1)。それぞれのチームが、学部間をつなぎ12 年間で児童生徒の学びを支援する「カリキュラム・マップ」(図2)及び「まなびマップ」を作成した。
- ・学部・教科ごとの教員チームを編制し、現在の年間指導計画の単元を洗い出し、学部でコアとなる教科や活動を軸に新学習指導要領を見据えながら、単元の並べ替え、教科を超えた単元配列、新しい単元の開発を行った(図3)。

活動の成果:

- ・本校の教育課程及び小中高等部で共通した活動をモデルにした系統的な指導内容の整理を行うことができ、次の学部段階を意識した授業づくりに役立てることができた。
- ・「マップ」作成や教育課程編成作業のプロセスを通して、教員が主体的に学び合う姿が見られた(写真3)。
- ・小中高等部の授業づくりに「マップ」を活用することで、卒業後を見通した指導・支援の在り方を考えることができ、高等部生徒による災害復興カフェや幼稚園で開催する木工教室(写真 2)などの地域協働の取組(図 4)が進んだ。
- ・教育課程編成における教職員アンケート調査では、75%の肯定的評価が得られ、学校経営目標を上回る結果が得られた。教育課程に関心がなかった教員も編成作業におもしろさを感じ、多様な個性を持つ教員がチームで作り上げる喜びを感じることができた。

アピールポイント (アイディアや工夫):

- ・目指す姿から付けたい力をどこでどのように付けるのかが一目でわかる「カリキュラム・マップ」や「まなびマップ」を活用することで、小学部から高等部まで一貫した系統性ある指導に役立てることができた。
- ・今回開発した全員参画型の教育課程編成作業は、そのプロセスで教員の主体的な学び合いを促進し、教科問の関連を考えた年間指導計画の作成に役立った。
- ・合意形成の過程で、フレームワーク、付箋の活用、アンケート、10 分間研修など、様々なフォームを活用したことで、チーム力の向上や働き方改革を目指した業務遂行の在り方を推し進めた。

※事務局記入欄

No. A-10

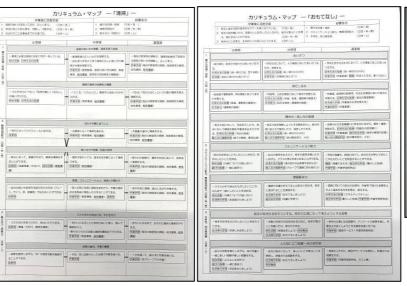
図1:3Mプロジェクト

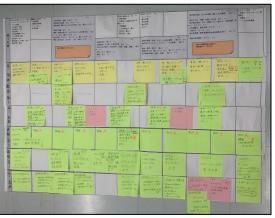


写真1:3Mプロジェクト会議の様子

図2:カリキュラム・マップ

図3:各教科の単元配列表(作業中)





加稚園)

写真2:木工教室(幼稚園)

図4:地域協働概要図



写真3:教育課程編成会議



【様式2】